

フィリピン共和国ダバオ市における廃棄物管理向上支援プロジェクト ～ JICA「草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」～

1 事業の概要

ダバオ市は、人口約150万人のフィリピン共和国第3位の都市ですが、都市圏及び社会経済活動の拡大に伴って廃棄物発生量が増大しています。一方、現在の廃棄物処分場の残余年数は4～5年と言われており逼迫した状態にあるため、廃棄物処分場の負荷軽減が喫緊の課題となっています。

これらの問題については、ダバオ市に廃棄物発電施設（WTE）の導入を実現することで、廃棄物の大幅な減量化と廃棄物のエネルギー利用を同時に図ることが可能となります。しかし、WTEの導入にあたっては、資源化物のリサイクルの推進、生ごみのコンポスト化などによって廃棄物を減量化し、その残渣をWTEで処理することが前提となります。

そこで本事業では、ごみの分別指導や水切り運動などの教育や、生ごみのコンポスト化などを通して、ダバオ市が自発的にごみの減量化が出来るよう人材の育成を行うとともにWTEの導入を目指します。

2 事業費概算額 : 約6,000万円

3 実施期間 : 平成28年11月～平成31年3月

4 事業実施体制 :

公益財団法人北九州市環境整備協会、公益財団法人地球環境戦略研究機関、北九州市
公益財団法人北九州国際技術協力協会、新日鉄住金エンジニアリング株式会社

5 相手機関 : ダバオ市 環境・天然資源局



【ダバオ市の位置】



【ダバオ市の廃棄物処分場】